


**みやぎNPO夢ファンド(C) スタートアップ支援プログラム
平成20年度助成事業 最終報告書**

書式 4

2009年 4月 29日

団体名	Anego
事業名	社会へのセクシャリティ理解促進事業
連絡担当者お名前 (ふりがな)	太田 貴 (おおた たかし)
助成金を使って行った事業について、ご記入ください。 (事業の様子の写真や、関連資料などありましたら、あわせてお送りください)	
<p>■講演会開催 2008年9月27日(土) 14:30~16:00 講演会「自殺・いじめの問題を抱える思春期の性的少数者 ー先生ができること・保健室ができることー」 講師：日高庸晴氏 会場：仙台市青年文化センター研修室2 参加費：500円 主催：Anego 後援：仙台市教育委員会、宮城県教育委員会 協力：World Open Heart、みやぎ自殺対策リボン委員会、仙台グリーンケア研究会、 ESTO、東北HIVコミュニケーションズ、杜の伝言板ゆるる、CAPみやぎ</p> <p>参加者40名(定員50名)</p> <p>教育・心理・医療の専門家に対し、思春期の性的少数者が置かれている実情と課題を提示した。</p>	
	

助成金を使って行った事業について、ご記入ください。(続き)

■HUG たいそう&ワークショップはぐはぐ

2008年12月23日(祝) 13:00-16:00

講師：荒木順子氏 (マダム・ボンジュール・ジャンジ)

会場：エルパーク仙台ギャラリーホール

参加費：ワークショップ+たいそう 1000円、たいそうのみ 500円

主催：Anego

参加者：ワークショップ6名、たいそう7名

ドローイングとダンス(身体表現)を組み合わせたワークショップとスキンシップで心の交流を促進するたいそうの体験イベントの開催。



今回の事業によって、団体の活動や地域社会にどのような成果・効果がありましたか。

【講演会の成果】

■ 教育委員会の名義後援

「みやぎ NPO 夢ファンド」の助成事業であることを明記したことで、社会性が高い事業であることを PR できた。性的少数者に対しては教育界（教育庁など）でもまだまだ差別と偏見が根強いが、社会性が高いことが認められ教育委員会の名義後援を得ることができた。特に、宮城県教育委員会の名義後援に関しては、夢ファンドの助成事業であったことが最終的な後援許可につながった。

参加者のアンケートにも、「どんな団体かわからなかったが参加してよかった」とあり、「みやぎ NPO 夢ファンド」の助成事業であったこと、教育委員会の後援があったことで参加に踏み切った人もいたことがうかがえる。

■ 参加者の属性（アンケート回収数 37）

教諭（19%）、養護教諭（24%）、心理職（8%）、医療関係（8%）、学生・院生（16%）、NPO（11%）など。

狙い通り専門家（教育・心理・医療）の参加が多くあった（過半数）

■ 教育現場でのニーズ・状況把握

アンケートに回答した教諭の 85%が、参加動機について「仕事に役立ちそう」と答えており、教諭・養護教諭のうち 31%が、セクシャリティについての質問・相談を受けたことがあったり、性的少数者または性的少数者と思われる知り合いがいる。つまり、すでに教育の現場で性的少数者に関わる問題が浮上しつつある現状が把握できた。

■ 性的少数者の存在を意識するきっかけになった

アンケートの自由記述欄には、「初めて性的少数者の生の話を聞いてよかった」「これまで知らずと傷つける発現や態度をしていたのではないかと反省した」など、講座が性的少数者の存在を意識するきっかけになったことを示す感想が見られた。

■ Anego への要求

性的少数者についての基礎知識を学べる講座開催を求める声が寄せられた。今後の事業展開を検討して行きたい。

■ 他団体との関係構築

講座に自殺やいじめの要素があったことから、多くの NPO と新たな関係を築くことができた。World Open Heart、みやぎ自殺対策リボン委員会、仙台グリーンケア研究会、CAP みやぎとは、今回の事業により新たに関係を築くこととなった。

■ 他イベントの参加者増加

講座参加者の受け皿として企画した、セクシャリティを問わず誰でも参加でき、多様性を感じる機会を提供する交流会「多様性を感じる Anego Tea Party」（11月と1月に開催）が毎回予想を大きく上回る参加者があり（のべ37名）好調であった。見込み通り講座参加者からの参加があり、新たな顧客獲得につながった。

【HUG たいそう+ワークショップの成果】

■ 多様性の再認識

ワークショップでは多種多様な自己表現を体験し、参加者個々の感性が多様であることを認識した。また、たいそうでも、多様な参加者を前に、多様性を実感しながらスキップにより、お互いを認めあい大切に思う心を学ぶことができた。

今回の助成事業を行って見えてきた課題は何ですか。

また、その課題解決に向けて必要なものは何ですか。

■ 教育現場での情報不足

教育の現場では、すでにセクシャリティについての質問・相談が生徒から出てきていることがわかった。教育者へ向けた性的少数者に関する情報提供や研修の機会を持つことが必要とされている。

今後、継続して講座や研修会を開催する他、インターネットや冊子での情報提供に取り組んでいきたいと考えている。そのためには、組織の基盤を整え、人材と資金を確保していく必要がある。

■ 新規事業の計画・実施の難しさ

ワークショップ+たいそうは、初の試みであり、また、こどもからお年寄りまでと参加対象が広過ぎたため、日程調整から広報まで多いに苦労した。

この反省を踏まえて、参加対象によらず広報のターゲットを絞ることの重要性を認識した。

今回の事業を、今後どのように展開していきますか。

また、その際に必要なものは何ですか。

■ 教育現場での現状とニーズへの対応

今回の事業を通して、教育の現場で性的少数者に関わる問題が浮上しつつある現状が見えてきた。こうした状況の中で、性的少数者に関する基礎的な講座や当事者の生の話を望む声が出て来ている。

Anego では、すでに性的少数者やセクシャリティに関する基礎的な講座の講師や当事者スピーカーを担当できる人材がおり、今回の事業でできた教育機関へのつながりを活かして、基礎講座の開催を平成 21 年度以降、取り組んでいきたい。

また、今回の事業から派生的に企画した、セクシャリティを問わず誰でも参加でき、多様性を感じる機会を提供する交流会「多様性を感じる Anego Tea Party」を、性的少数者の生の話が聞ける場として積極的に告知していきたい。

■ アイスブレイクとしての HUG たいそう

今回、HUG たいそうを体験してみて、アイスブレイクとして利用できる手法であると感じた。特に、多様な人が集まる場合には、お互いの距離感を縮めるために非常に有効な手段であり、講座やイベントの導入の一手法として実施していきたい。

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

収入の部

項目	予算（円）	決算（円）	備考
みやぎNPO夢ファンド助成金	200,000	200,000	
参加費	65,000	27,500	講演会 40名×500円=20,000円 たいそう 7名×500円=3,500円 ワークショップ 6名×500円=3,000円
団体負担金	0	22,630	
合計	265,000	250,130	

支出の部

項目	予算（円）	決算（円）	備考
講師謝金	60,000	60,000	2名×30,000円=60,000円
講師旅費	107,980	73,010	京都-仙台往復、宿泊1泊 43,140円 東京-仙台往復、宿泊1泊 29,870円
会場費	33,000	35,300	講演会会場費 3,900円 たいそう、ワークショップ 会場費 29,400円 準備作業会場費 2,000円
印刷費	20,000	28,781	チラシ印刷代 16,740円 チラシ用紙代 9,041円 資料印刷代 2,900円 コピー代 100円
消耗品費	15,000	20,199	ワークショップ資材代 3,045円 会場装飾品 12,376円 封筒代 3,998円 記録用ビデオテープ 780円
通信運搬費	26,000	32,040	チラシ郵送代 29,400円 会場装飾配送代 2,640円
雑費	3,020	800	駐車料金 800円
合計	265,000	250,130	

寄付をいただいた方へのメッセージをどうぞ

みやぎ NPO 夢ファンドの助成金獲得に始まった 2008 年度は、私たち Anego にとって大きく飛躍する 1 年となりました。助成事業による成果に限らず、新聞社の取材や映画館でのトークショー開催など、いろいろな角度から団体を PR する機会を得ることができました。この 1 年の成果と課題をこれからの活動に活かし、よりよい社会の実現へ向けて尽力して参ります。これからも、どうぞよろしくお願ひいたします。